

「(仮称)南渡田北地区北側開発」におけるイノベーション エコシステム構築に向けた共同事業契約を締結しました ～ヒューリック・東京科学大学・川崎市の産学官連携で次世代の産業集積を加速～

本市は、ヒューリック株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:前田隆也^{まえだたかや}、以下「ヒューリック」)及び国立大学法人東京科学大学(以下「東京科学大学」)と、ヒューリックが本市で開発を推進している「(仮称)南渡田北地区北側開発」(以下「本開発」)に関して、「アカデミアと不動産デベロッパーの連携によるイノベーションエコシステム(※1)構築の加速化手法・効果の検討及び実証」に関する共同事業契約(※2)を令和8年6月1日(月)に締結しましたので、お知らせいたします(事業期間:令和8年11月30日(月)まで)。

(※1) イノベーションエコシステム: 大学、公的研究機関、スタートアップ、事業会社、投資家、金融機関、官公庁などが相互につながり、協力関係を保ちながら、継続的にイノベーションを創出する仕組み

(※2) 共同事業契約: 企業等の担当者と東京科学大学の教職員が、特定の課題の解決に向けた方策の検討等を目的として共同で取り組む事業(共同事業)を設定し、その実施内容等について取り決める契約

1 背景

大規模土地利用転換が進む川崎臨海部は、素材・化学、エネルギー等の産業基盤に加え、首都圏・羽田空港への近接性、工業地帯としての自由度・拡張性を備える、国内外でも希少なポテンシャルを有するエリアです。また、国の新たな支援制度である「GX戦略地域」の有望地域に選定され、認定に向けた取組が進められています。

研究開発から試作・実証、将来的な量産・社会実装までを一貫して実現できる拠点の形成を目指す南渡田地区においては、ヒューリックによる国内最大級(※3)の次世代リサーチパークの建築工事が進み、次世代産業の研究開発機能の集積が見込まれております。

(※3) ヒューリック調べ

2 本共同事業の目的

イノベーションエコシステム構築には、様々な研究シーズ(※4)や専門人材との接点、国内外の企業・研究機関とのつながり、地域戦略との接続などの環境づくりが重要となります。

本共同事業では、新産業拠点におけるイノベーションエコシステムの構築を加速させるためのアカデミアの役割や機能、及び効果的手法について検討することとしており、国際卓越研究大学にも認定され、世界最高水準の研究基盤を有する東京科学大学の豊富な知見やネットワーク等を本開発に取り入れることで、本市が目指す新産業拠点にふさわしい価値の創出や産業集積の加速化につなげてまいります。

(※4) 将来的に成果が花開き、社会や産業に応用される可能性の高い研究の「種」

■地図



■イメージパース(コミュニティ棟)



■鳥瞰イメージパース((仮称)南渡田北地区北側開発 全体)



※計画概要・イメージパースは現時点のものであり、今後変更になる場合があります。

※本リリースに掲載されているイメージパース内の周辺建物は、Vexcel Imaging US社の都市モデルを使用しています。

【問合せ先】

川崎市臨海部国際戦略本部土地利用転換推進部 稲葉
TEL 044-200-3594 内線42901